

火山調査委員会の活動状況

令和7年3月4日
火山調査研究推進本部
火山調査委員会

第2回政策委員会（令和6年8月9日）以降の火山調査委員会（委員長：清水洋 国立研究開発法人防災科学技術研究所巨大地変災害研究領域火山研究推進センター長／国立大学法人九州大学名誉教授）及び機動調査観測部会（部会長：森田裕一 国立研究開発法人防災科学技術研究所巨大地変災害研究領域火山防災研究部門特別研究員／国立大学法人東京大学名誉教授）の活動状況は以下のとおり。

1. 火山調査委員会の活動状況（表1）

令和6年9月25日に第3回の委員会を開催し、関係行政機関、研究開発法人、大学等の調査結果等を収集、整理、分析し、火山活動の現状の評価を審議した。審議結果に基づき、我が国の111の活火山について、火山調査研究推進本部設立後初めて評価文を取りまとめて公表した。また、現状の評価を踏まえ、最近1年間に噴火した火山や、火山活動に変化がみられ観測データや調査研究等の充実等の方策（調査研究方策）を検討すべき火山について、重点的に現状の評価を行うこととし、8火山（八幡平、岩手山、焼岳、硫黄島、桜島、薩摩硫黄島、口永良部島、諏訪之瀬島）を選定した。

令和7年2月17日に第4回の委員会を開催し、これら8火山について、各火山に詳しい専門家が中心となり、関係行政機関等のデータに加え、大学の研究成果や民間企業の調査結果等も詳細に分析し、評価文及び調査研究方策を取りまとめた。

2. 機動調査観測部会の活動状況（表2）

令和7年3月3日に第2回の部会を開催し、第4回火山調査委員会が取りまとめた調査研究方策を踏まえ、機動的な調査観測の実施計画について審議した。

表1 火山調査委員会の開催状況

開催年月日	回	議 題
令和6年9月25日(水)	第3回	(1) 111の活火山の現状の評価について (2) 重点的に現状の評価を行う火山の選定について (3) その他
令和7年2月17日(月)	第4回	(1) 重点的な現状の評価について (2) その他

表2 機動調査観測部会の開催状況

開催年月日	回	議 題
令和7年3月3日(月)	第2回	(1) 機動的な調査観測の実施計画について (2) その他

令和7年3月4日現在